

各地連女性協で 定期大会開く

新体制、方針など決める



女性協議会

結束を確かめ合う

中四国地連女性協定期大会

10月18日開かれた、中四国地連女性協定期大会には、中四国地連内六単組と新設の執行委員、別途本部女性協担当執行委員、推進執行委員ら一四名が参加しました。

各単組からの現状報告では、在広島より、三連までの育児休暇が小学校就学時まで延長されたことや、育児休業の三年までの延長（ただし無給）が認められたことなど、女性の権利についての前進が認められま

●女性協 URL <http://www.minpororen.jp/women/index.html>

社も、契約社員や派遣社員、再雇用制度のバリエーションの多様化



多様な課題で議論しました

見がき、各社の取り組みについての情報交換がなされました。

が各局で進んでいる様子がうかがえ、このことによる組合活動への波及についても期待を込めて議論が交わされました。さらに、緊急課題として、新型インフルエンザの対応について、現場へ向かう報道記者への予防接種については、高島な

情報を共有し、連携を

九州地連女性協定期大会

せました。また、連連の執行委員から「民放労連女性のつどい」のあり方についても、毎任活動費が指定されていることや、組合員が少なく参加費が捻出できない単組があった現状を踏まえ、労連女性協に対し、女性のつどいの規模や参加範囲の

10月24日（土）、福岡市にて、民放労連九州地連女性協の第三六回定期大会が開かれました。今年は一泊開催となりましたが、一五単組から一四人が参加しました。



九州の女性は「元気」です！

帯を受けている実態などが次々にあげられました。セクハラを防ぐための意識改革を明示していない会社がある。三「ランチ会」というスタイルで、男女を問わず職場の問題を話す会を設けている鹿児島テレビ単組や、同じ大分の姉の女性同士で語りあう場を設けた、大分放

ゼロというところが多く、女性部としての話も報告されました。先行きは決して明るいとはいえないまでも、女性同士が集まれば、必ず何か解決のヒントが生まれるはずですから。これからも、九州地連女性協を、気軽に職場の悩みや困ったことを相談し合える、そして元気を生み出せる場としての場として盛り上げていきたいと思っています。

- 2009年度の九州地連女性協の三役は以下のとおりです。
- 議長 清野 真実
- 副議長 デレビ単組・新任 藤本 幸子
- 副議長 福岡 幸子
- （九州朝日放送単組・前任）議長 松本 由実
- （九州朝日放送単組・新任）